

京浜急行電鉄黄金町

高架下新スタジオ Site-C 工房

高橋晶子+高橋寛/ワークステーション



南側より見る。右手にはテラス



北側より見る。室内のあかりが町ににじみ出る。



南側より見る。高架柱と2列のW型鉄骨柱。



躯体と居室の中間的な表情をもつ内装。

京浜急行電鉄の高架下につくられたNPOや地域住民の活動拠点となる工房。スクールやワークショップ、展示などにも使用されるスタジオである。

シンプルな形式、豊かな空間性

RCの折版屋根が最小限の構造で支持されるシンプルな形式。小規模で単純な輪郭だが、高架柱と2列のW型鉄骨柱は内部に奥行き感を生み、光や視線の抜けはいろいろな方向へ意識を向かわせる。有孔フレキシブルボード、構造用合板、直吹き吸音材など、内部は下地材をそのまま仕上げとし、躯体と居室の中間的な表情をつくっている。

